



東北商店株式会社
www.tohokushoten.com

被覆線・雑品
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社
日本社
大阪市住之江区新北島5-3-16
TEL: 06-6683-8828

□南港事業所
TEL: 06-6613-8838

□千葉支店
TEL: 0436-76-7277

グループ会社
□東北エント株式会社
兵庫県姫路市網干区浜田1585
TEL: 079-271-5025
www.tohoku-ent.com

□東北ライド株式会社
愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田
字大海用172番
TEL: 0567-94-5688

日刊メタルレポート

発行所

株式会社 日刊金属新聞社
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表
購読料 半カ月44,100円(前納) 3カ月22,050円

対照的に住宅着工は二ヶタ増

橋本健一郎氏リポート①
・アルミ 橋本健一郎氏リポート①

[概況]七月前半は六月の中国製造業PMI指数が五〇・一に悪化した事や、回るなどマイナス材料はあつたが、政局が混乱しているポルトガルで連立政権が樹立、財政再建が進むとの思惑や、六月の米雇用統計の非農業部門雇用者数が予測を大幅に上回った事を好感し、LME銅相場は六・九三三ドル(セツル)と前月最終価格より一七三ドル上げての前半締めとなつた。

後半は中国人民銀行が貸し出し金利の下限を撤廃した事、日本の参議院選挙で自民党が圧勝し衆、参議院でのねじれが解消した事、六月の米鉱工業生産が〇・三%上昇するなどプラス材料もあつたが、中国の四・六月期のGDPが七・五%増と〇・二%ポイント悪化した事、六月の米小売売上高が〇・四%増、中古住宅販売台数が一・二%減と予測を下回つたこと、七月の中国HSBCのPMI指数が四七・七%と一カ月ぶりに悪化、三方月連続五〇を下回つた事などを嫌気し、一時六・八〇〇ドル割れまで下落した。その後七月中国製造業PMI指数が予測を上回る五〇・三と景気判断の五〇を上回つた事や、七月の米雇用統計で失業率が七・四%と〇八年十二月以来の低水準となつた事を好感、八月三日現在、前半締めから九六ドル上昇の七・〇一九ドル、銅建値七一万円のスタートとなつた。

■前月の経済指標

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比九・五%減の八〇万八・五五七台。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比一三・五%減の二八万四、三一四台。

一三・五%減の二八万四、三一四台。

◆自動車販売台数推移

自動車販売台数推移

| 月 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| 1月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 2月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 3月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 4月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 5月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 6月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 7月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 8月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 9月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 10月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 11月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 12月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |

出典：日本自動車工業会

◆自動車生産実績

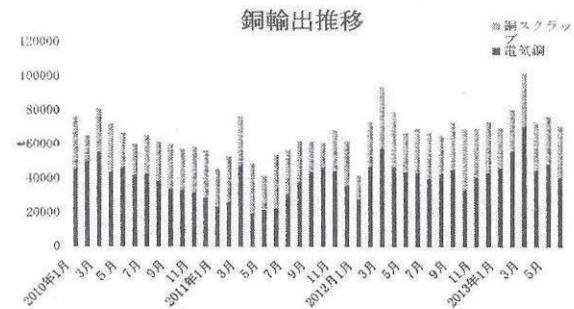
自動車生産実績

| 月 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| 1月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 2月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 3月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 4月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 5月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 6月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 7月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 8月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 9月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 10月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 11月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |
| 12月 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 |

出典：日本自動車工業会

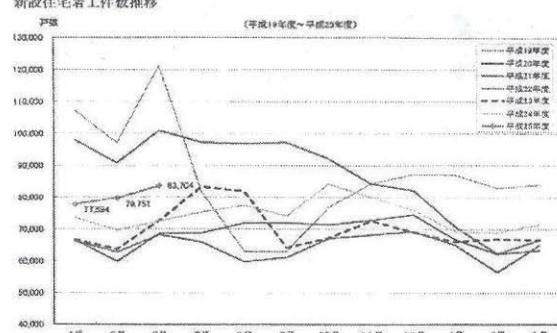
自動車二ヶ月連続の二ヶタ減

| 輸出 | 4月 | 5月 | 6月 |
|-------|---------|---------|--------|
| 電気銅 | 4万4901t | 4万8578t | 4万774t |
| 前年比 | -4.1% | +10.7% | -6.0% |
| スクラップ | 2万8275t | 2万7933t | 3万127t |
| 前年比 | -11.7% | +21.4% | +16.3% |
| 輸出推移 | | | |



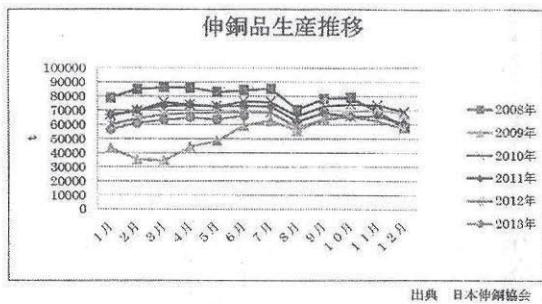
◆貿易関連指標
財務省貿易統計によると、輸出は前年比で電気銅が六・〇%減の四万〇、七七四t、ス

| | 4月 | 5月 | 6月 |
|----------|---------|---------|---------|
| 新設住宅着工戸数 | 7万7894戸 | 7万9751戸 | 8万3704戸 |
| 前年比 | +5.8% | +14.5% | +15.3% |

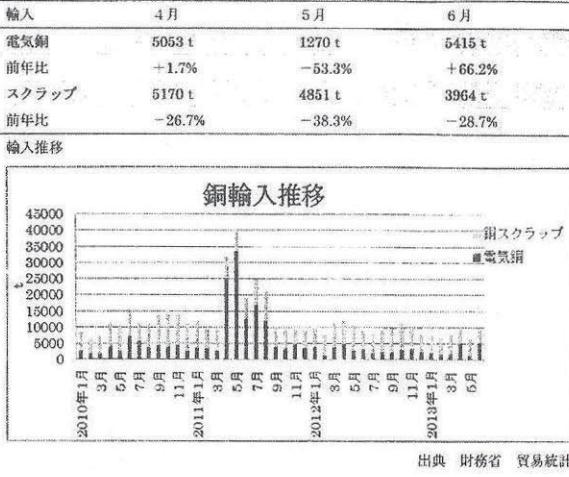


◆新設住宅着工戸数
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比二五・三%増の八万三、七〇四戸であつた。

(一面より続く)
銅の輸出は銅スクラップ、伸銅品生産、電線出荷とも減少
クラップが一六・三%増の三万〇、一二二七t。
輸入は電気銅が前年比六六・二%増の五、四一五t、スクラップが二八・七%減の三、九六四t。
日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前年比五・八%減の五万四〇〇〇トンであつた。



(六面へ続く)

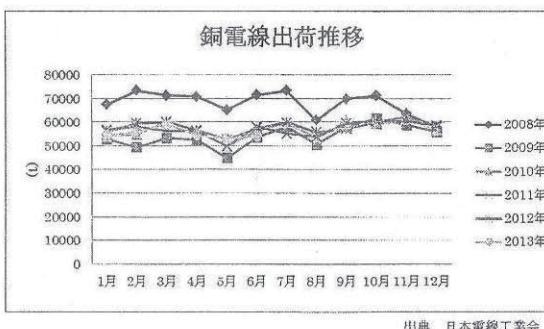


出典 財務省 貿易統計

(二面より続く)
モードか
内需は停滞

目新しい需要増材料が乏しく

銅相六、七〇〇～七、二〇〇ドルか



〔見通し〕
七月は、中国景気後退懸念と対策・米国金融緩和縮小時期に一喜一憂した月となつた。中国の四～六月期のGDPが七・五%増と○・二ポイント減少したが、その対策について当局のコメントが右往左往したことや、RBバーナン基調の金融緩和縮小時期についてのコメントが時期を決めない方向に変化し出したことから。

自動車生産は前年比九・五%減の一〇力月連続マイナス。国内向け一〇・八減、輸出向け生産四・五%減と共にマイナスへ。

販売の方は二力月連続二桁悪化、前年比割れの一三・五%減。貨物車はほぼ前年並みだつたものの、乗用車が小型二〇%減普通車十〇%減と共にマイナスだったことから。

新設住宅着工戸数は先月に続き一〇力月連續増加、前年比一五・三%増(季節調整済み前月比五%減)の八万三、七〇四戸。今月も唯一堅調な住宅関連。分譲住宅二四・三%増、マンションが四六・三%増と大幅増。ここ最近の消費マインドの改善から。消費税、住宅減税その他の政策の動向に注目。

伸銅品生産量は前年比三・六%減の六万六、四四〇tと八力月連續前年割れ。輸出は円安を追い風に三力月連續前年プラス。ただ需要のエアコン向けの銅管が七%減と予想外の二二力月連續マイナス、黄銅棒も一・七%減の三力月連續一万五千t割れ。銅電線出荷量は、前年比五・八%減の五万四千

tと二力月ぶりマイナス。うち国内五・二%減、輸出が三三・五%減と大幅悪化。建設、電販が四・一%増以外はほぼ二桁近いマイナス。

銅の輸出に関しては、電気銅輸出が前年比六・〇%減の四万〇、七七四tと減少。銅スクラップは一六・二%増の三万〇、一二七七t。スクラップは二八・七%減の二、九六四t。電気銅は国内スクラップ不足から増加。スクランプは円安による割高感から大幅減少。

〔銅需給に関して〕
住宅関連は新設住宅着工数が前年比一五・三%増と一〇力月連續増加、分譲マンション四六・三%増。住宅二四%増と絶好調。

ただ自動車は生産が一〇力月連續前年割れが続き、内需不安から不透明。

六月の国内販売台数も一三・五%減と大幅悪化。消費税増税前の駆け込み需要以外は目新しい需要増材料はなく、また来年以降の話であることから現実味に欠ける。また中国景気後退懸念や米国金融緩和縮小時期の延長のため一〇〇円を超える円安も望めず内需は停滞モード。

〔銅価格に関して〕
中国の経済政策に一喜一憂する事が予測される。

先月の懸念材料であつた米国の金融緩和縮小は米景気が回復基調であるが、縮小時期として上がつていていた九月、十二月共に期限を設けないと見解から一旦は終息。

また米国経済指標全体が改善してきておりそれはかなりの上昇材料になる。

ただ中国の経済政策に関しては当局や政治家の発言が割れており、その都度個別の材料にマーケットは反応している。

しかし、基本スタンスとしては環境問題を含んだ過剰生産の抑制やシャドーバンキングの問題の解決などは明確化されたことから、これまでのような投機資金調達は期待できず、やや引き締め気味になるとの予測。

それらを踏まえた銅価格、上値は七月前半高値付近からもう一段高の七、二〇〇ドルを予測。下値は中国の引締めが行われた場合再び失望感から暴落する可能性が高く、七月最安値の六、七〇〇ドルを予測。

為替はAve九八円との予測から、銅建値に関しては六九〇～七四〇円程度と予測している。